

差出人

日時 2018年01月28日(日)

To:

標題 呼和浩特市中學生受入れ

---

「日本のお母さんになれたかな？」

私達家族は、ベルギー6年 イギリス6年と

駐在生活を経験しました。

海外生活では、現地ママ友達に沢山助け頂き、また仲良くして頂きました。

日本に帰国して、何らかの形で恩返しを

したいという思いで、ホストファミリーに

登録しました。

当初、呼和浩特市中學生の受入れのお電話頂いて、快く承諾したものの、リュ・イーランに会うまで、とても不安でした。

まず、私達は中国語が話せないの、どうコミュニケーションをとったらいいのか？

と心配していました。

幸いにも、リュは英語が上手で、私達は英語で沢山お喋りしました。

リュは、家族のこと、学校、中国の教育事情について、また、呼和浩特市のことなど

いろいろな話をしてくれました。

とても興味深い話でした。

土曜日は、苺がりに行きました。

リュは、「フルーツの中で一番 苺が好き。日本の苺は甘くて美味しい。」

「苺を自分で摘んで食べることが出来るなんて、幸せ！」

と言って大喜びでした。

苺がりの後は、イオンモールで

ショッピング。

日本の中学生女の子と同じように、可愛いものを見つけると、目をキラキラさせていました。また、プリ

クラ初体験して、かなり興奮して喜んでいました。

帰路の途中、近くから岡崎城を眺め、

大樹寺に行って、そこから再び岡崎城を眺めました。「歴史的眺望として約370年間守られているから、

ここから岡崎城を眺めることが出来るのよ。」と話しをしたら、

感心していました。

そして岩津天満宮で参拝。学問の神ということで、とても興味をもった様子。

あっという間の3日間で、東岡崎駅でお別れの時、とっても寂しかったです。

もっと長いこと、リュの日本のお母さんで

いたかったです。

今回、貴重な経験させて頂いたことに

感謝致します。